

# NNHM幼保アンケート調査 経過報告 ver.1

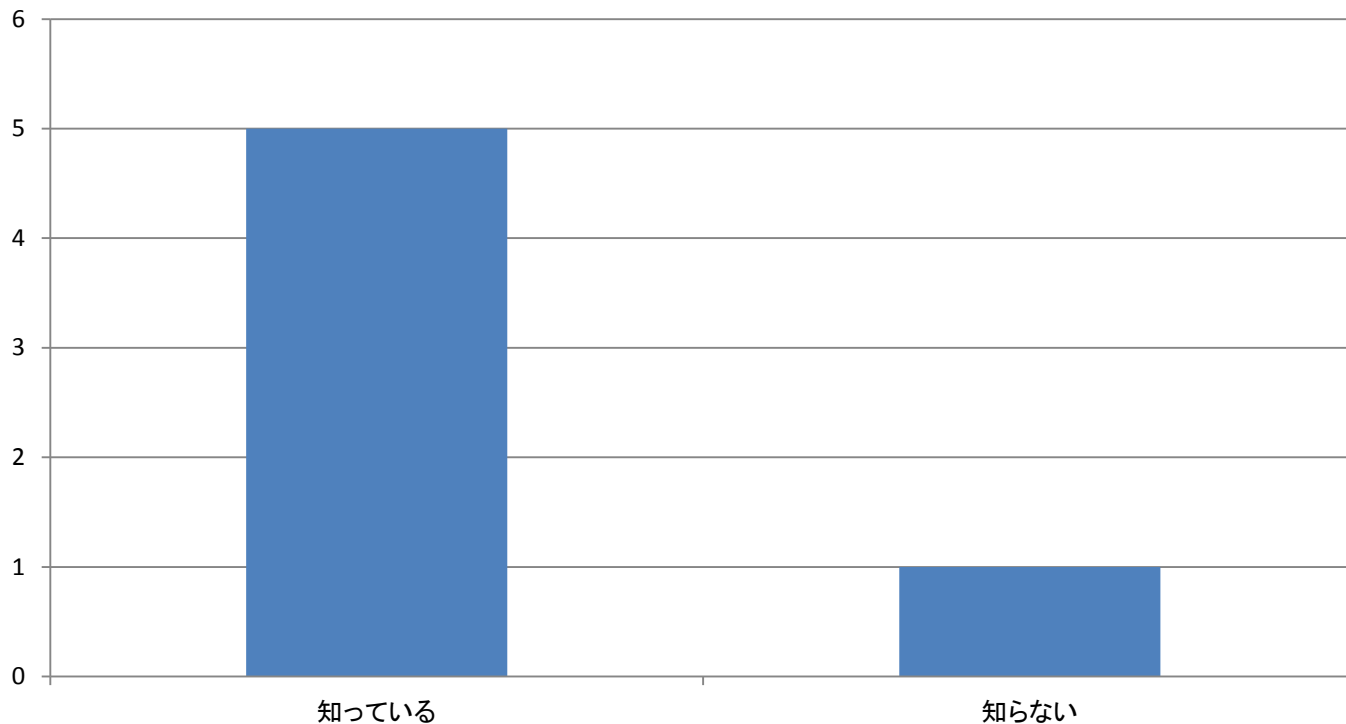
2011.11.4～12.15現在

# 経過概要

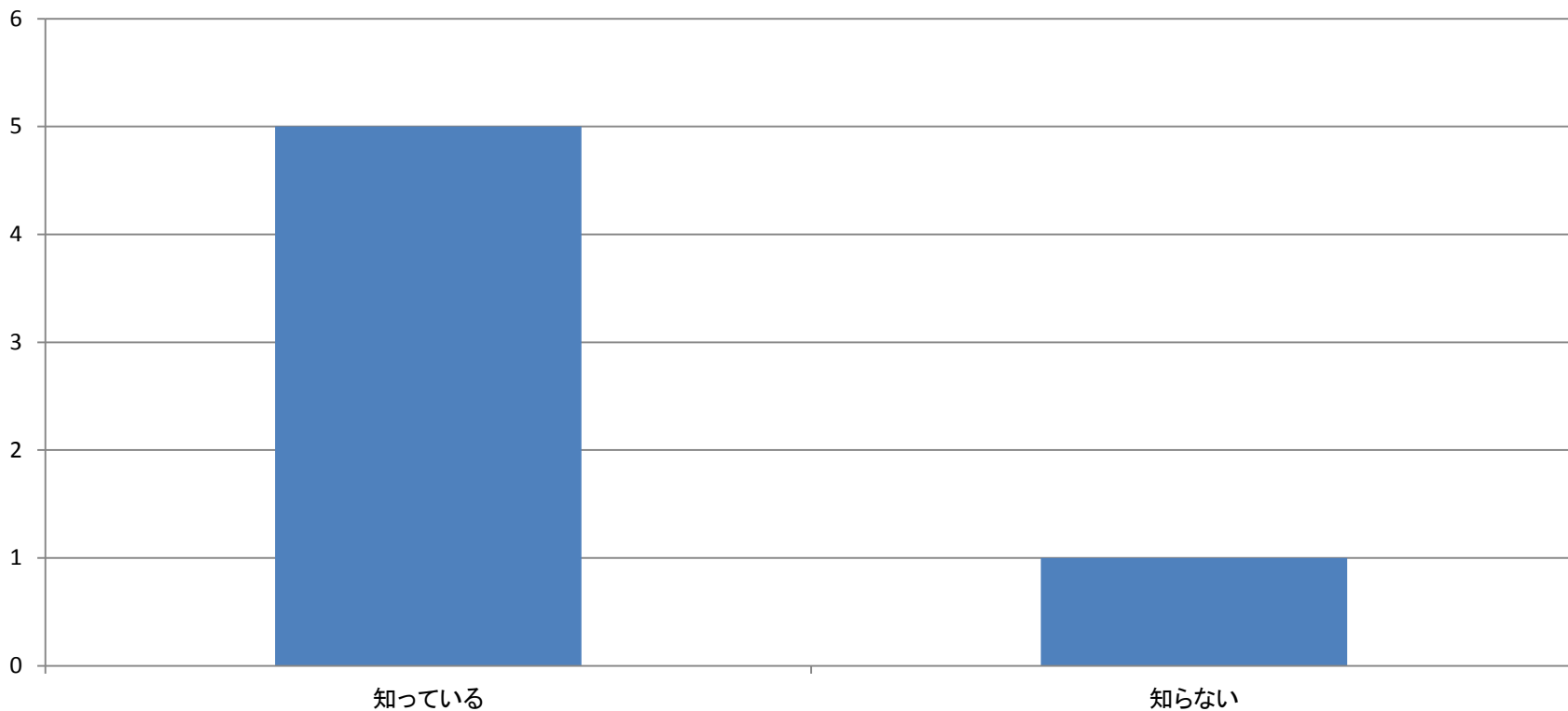
- 9／42幼稚園実施（内：プレ1,非回答2）であり、回答は実質**6園**です。
- アンケートは1、2と二段階で実施したが、今回は1のみ集計結果を公表します。
- 下記の幼稚園さんは、アンケートの回答を個別に公開することにご快諾頂いておりますが、今回は集計結果のみご報告しております。

**ぎんなん幼稚園さん、横須賀幼稚園さん、めぐみ幼稚園さん、久里浜幼稚園さん、津久井幼稚園さん（順不同）**

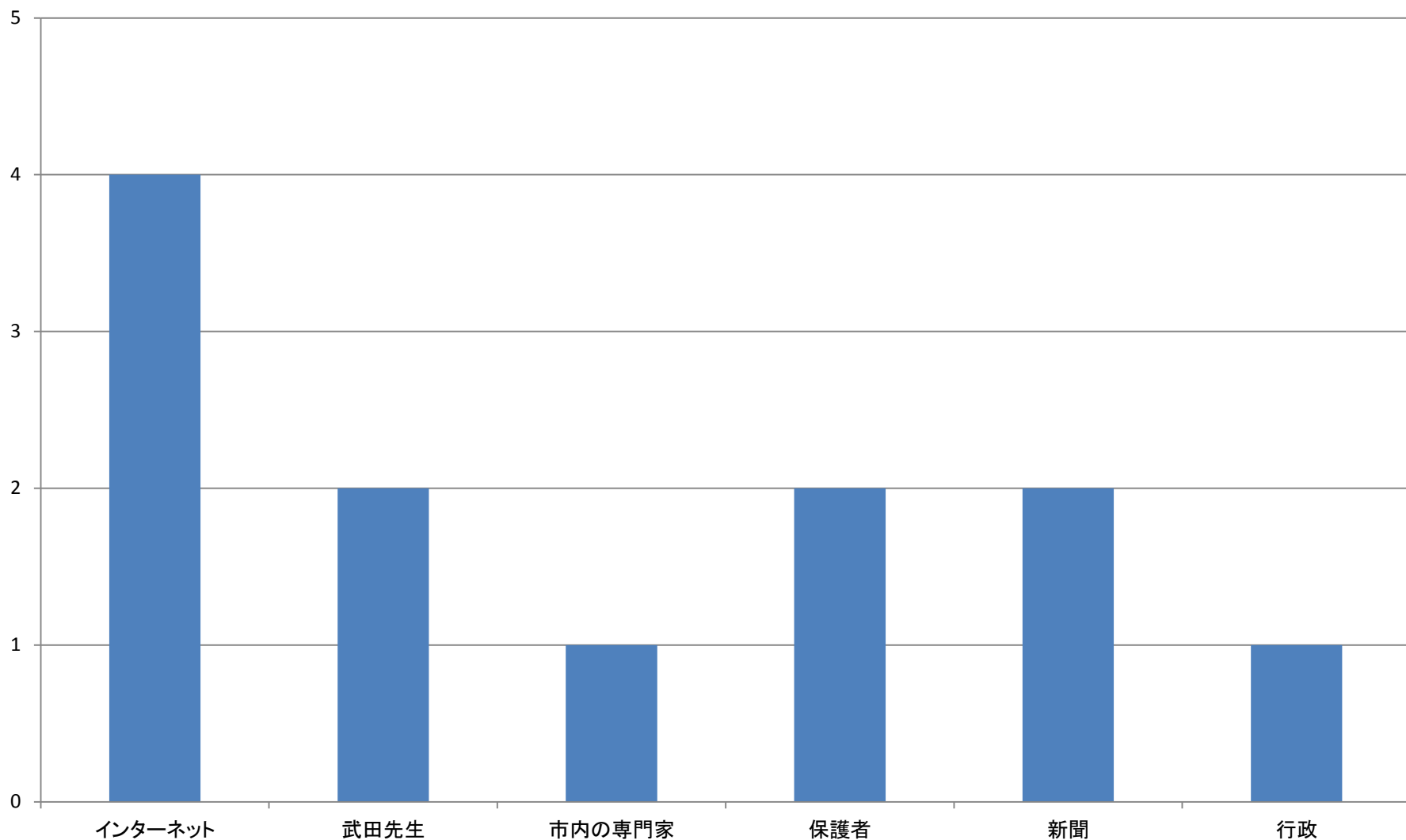
年間被曝限度量1ミリシーベルト(ICRP国際放射線防護委員会)を守るためには、園内外での生活において、外部被曝、内部被曝のすべてを合算して0.3ミリシーベルトとなることをご存知ですか？



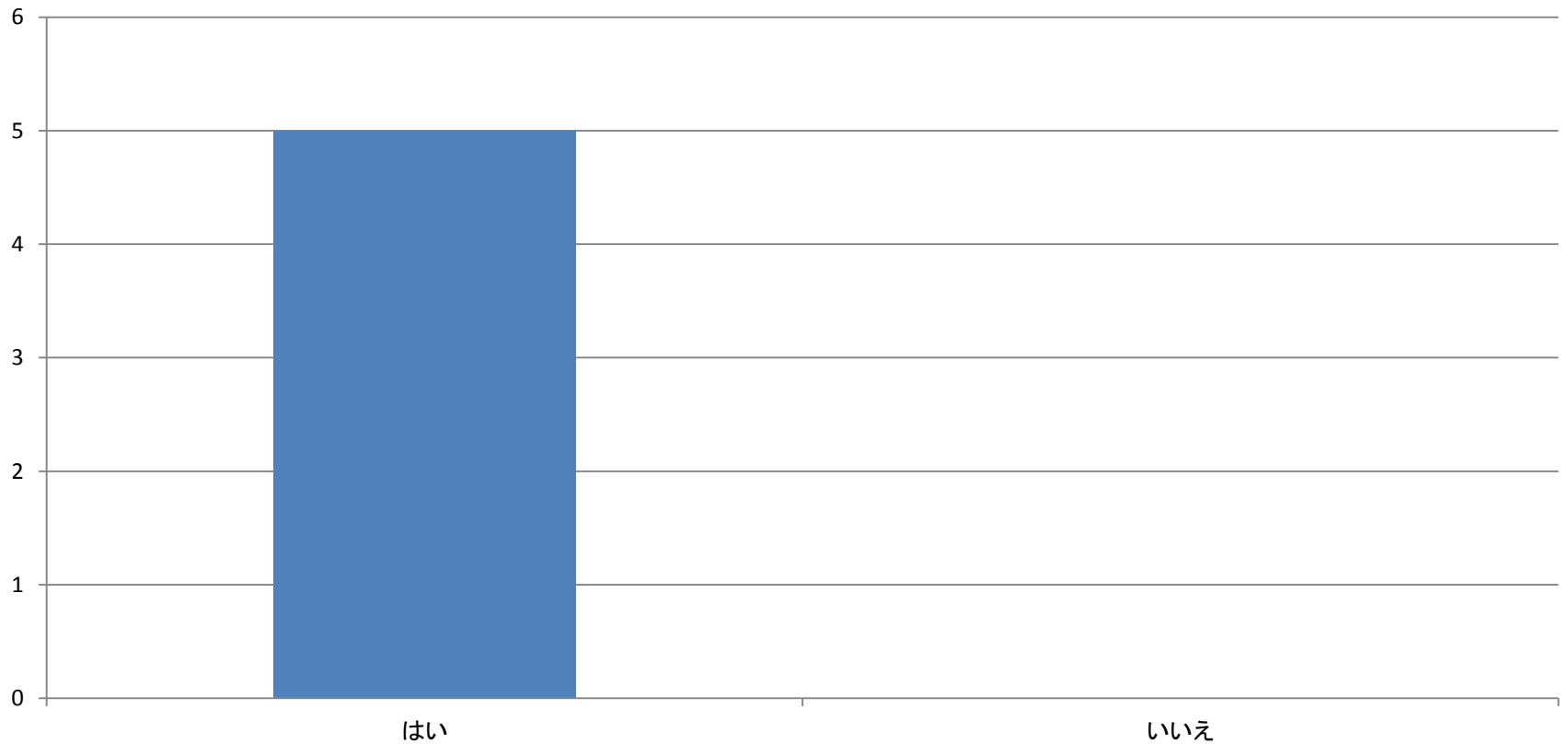
横浜、逗子、横須賀市内でも局所的に  
土壌が汚染されているという報道がさ  
れていますがご存知ですか？



# 放射能についての情報はどこから得られていることが多いですか？



市内の幼稚園で、独自に測定・対策をした事例もあり、保護者のなかには不安を感じている人もいます。なんらかの対応が必要とお考えになりますか？



# どのような対応が必要ですか？

- 除染費用の補助
  - 保護者の不安を解消させたい
  - 国、県、市、東電が除染すべき
  - 保護者を安心させるには行政がやるしかない
  - ガイガーカウンターでの計測
- ★ 実際に、各園でさまざまな対策を取られている  
→HPによる情報公開、砂場の入れ替え、独自での放射線の測定

# 311以降、園としてどのようなことにお困りですか？（具体的に）

- 報道、情報源により差がありすぎる
- 横須賀という土地柄、ベース関係の保護者からの情報があり、日本と米国の対応の違いに戸惑った
- 保護者に温度差がある
- 報道で大丈夫だというので対応のしようがなかった
- 確かな基準が欲しい、国の方針が不明
- 食品の不安、食事に関する対応が難しい
- 日常の園生活と外遊びができないと、園児のストレスにならないかの判断が難しかった
- 子どもの安全をどうやって守れるのか
- 市の測定は定期的にしてほしい



# アンケート実施者の感想①

ともかく実態がどうなっているのか分からなくて、園に実態を聞いてみたってはじめてだが、その目的はかなり達成できていると感じる。

→園ごとに、回答してくださった方ごとに、認識、知識が異なる、バラバラである。

→まずは「勉強会」が必要では？と考え、さまざま企画中

## アンケート実施者の感想②

放射線量を測定して、結局どうしたらよいか分からない、という声が多かった。

→いわゆるマイクロスポット除染方法については、専門家の助言を伝言する。

→広範囲の除染については、どうしていったらよいか、一緒に考えていきたい。

# おわりに

- ご協力くださいました、幼稚園のみなさま、まことにありがとうございました。
- 引き続き、アンケート実施していきますので、ご協力をお願いいたします！！
- なお、アンケートをきっかけとして、放射線量の測定を実施しています。結果は、本会のHPや、各園のHPをご覧ください。